

第 1 1 回「芥川作曲賞」決まる
原田 敬子氏の作品「響きあう隔たりⅢ」に

「芥川作曲賞」の第 1 1 回受賞曲は、8 月 2 6 日（日）午後 3 時から東京・サントリーホールでの演奏会による公開選考の結果、原田 敬子氏の作曲の「響きあう隔たりⅢ」に決定しました。同氏には、賞状とあわせて賞金 5 0 万円が贈られました。

芥川作曲賞は、戦後のわが国音楽界の発展に多大の貢献をされた故芥川也寸志氏の功績を記念して、サントリー音楽財団が日本作曲家協議会の支援を得て 1 9 9 0 年 4 月に創設したものです。故人の深い音楽愛、明晰な音楽観と音楽の振興によせられた熱情を追慕して、わが国の新進作曲家のもっとも清新にして将来性に富む作品を対象に、演奏会形式により公開選考を行うという、作曲賞としてはわが国で初めてのユニークな試みとなっています。なお、この日、公開選考に先だって、第 9 回受賞者・菱沼尚子氏の受賞記念サントリー音楽財団委嘱作品「クラウド・キャッスル」の初演が行われました。

▽第 1 1 回芥川作曲賞

原田 敬子（はらだ・けいこ）

<受賞理由>

個性的で大胆な発想に基づき、音楽の響き、ハーモニーに新しい聴覚体験をもたらした。優れた先進性と創造性が高く評価された。

<略歴>

1 9 6 8 年 4 月 1 7 日大阪生まれ。7 歳より作曲を始める。桐朋学園大学作曲科在学中より、主に欧州の音楽祭やセミナーに参加し、各国の音楽家と共に学ぶ。1 9 9 3 年桐朋学園大学研究科修了。1 9 9 3 年秋吉台国際作曲賞優秀賞、第 6 2 回日本音楽コンクール第 1 位、安田賞、E・ナカミチ賞、1 9 9 5 年山口県知事賞等を受賞。イクトウス [ベルギー]、アンサンブル・モデルン [独]、山根孝司 (cl)、古川展生 (vc)、シュテファン・フッソング (acc)、ヨーヨー・マ (vc) 等の演奏家に新作を提供。秋吉台作曲マスターコース助手、作曲フォーラム、サウンド・ギア（舞台芸術音楽企画' 9 9 ~）等の企画やプロデュースも積極的に行っている。現在桐朋学園大学、静岡音楽館講師。ピアノを間宮芳生、作曲を川井学、三善晃、ブライアン・ファーニホウの各氏に師事。

第11回芥川作曲賞 選考経過

1. 2001年6月1日（金）午後1時より東京赤坂、東京全日空ホテルにおいて第1次選考会を開催。2000年4月1日より2001年3月31日の間に国内外で初演された日本人作曲家の管弦楽作品を対象に選考し、芥川作曲賞にふさわしい清新にして豊かな将来性を秘めた以下3作品を「第11回芥川作曲賞」の候補に選定した。選考委員は池辺晋一郎、西村朗、細川俊夫の3氏。（50音順）

●植田 彰 作曲 <パルセイティング>

初演：2000.5.28. 東京オペラシティコンサートホール・タケミツメモリアル
東京オペラシティ文化財団「2000年度武満徹作曲賞本選演奏会」

●中村 寛 作曲 <アリアドネのなげき>

初演：2000.7.7. 中野ゼロホール
日本交響楽振興財団「現代日本のオーケストラ音楽第24回演奏会」

●原田 敬子 作曲 <響きあう隔たりⅢ>

初演：2001.3.17. 富山市 オーバード芸術劇場
富山市文化のまちづくり実行委員会主催「オムニバス交響絵巻～億光年
への響き」

（50音順）

2. 2001年8月26日（日）、午後3時よりサントリーホールにおいて上記3曲を公開演奏（指揮＝小松一彦、管弦楽＝新日本フィルハーモニー交響楽団）。演奏終了後、ステージにおいて3選考委員による公開討議を行った結果、「第11回芥川作曲賞」受賞曲に原田敬子氏の作曲による「響きあう隔たりⅢ」が選定された。
3. 公開選考終了後、直ちに同ステージにおいて贈賞式が行われ、芥川作曲賞運営委員会委員長 岩井宏之氏により賞状、賞金（50万円）が授与された。
なお、原田敬子氏にはサントリー音楽財団より交響管弦楽曲の新作が委嘱され、完成後に同財団主催のコンサートで初演される。（委嘱料100万円）

以 上